

参考資料

めあて

自分から学習に向かう習慣を身に付ける

自分でできることは自分で！

Point



この時期の児童は好奇心が旺盛となり、自立心も芽生えてくることから、何事に関しても自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていくことが大切です。

しかし、自主的に行動しても上手くいかないことも多いので、家庭での温かい励ましや助言が大切です。特に、児童のつまずきや苦手意識をもっている事柄に関しては、粘り強く支援していくことが児童のやる気につながっていきます。

規則正しい生活の再確認を！

Point



時間を意識させ、けじめを付けさせることは、自律心や学習へ集中力を高めることにつながっていきます。低学年では褒めてもらうことで約束事への意欲をもちますが、中学年では慣れ之感覚から、これまで守っていた習慣が乱れがちになります。家庭で話し合い、約束事を分かりやすく再確認し、児童が自分から意識して約束事を守るように働きかけることが大切です。

意欲を引き出す言葉かけを！

Point



低学年に比べ、学習範囲の広がりや学習内容の深化により、学習内容の定着に関して個人差が出てくる時期です。そのようなときは、友達や兄弟・姉妹と比べたりするのではなく、その児童の「やる気」を見逃さないようにして、褒めたり励ましたりすることで意欲を引き出していくことが重要になります。

4年生の 家庭学習



やることを決めて続けましょう！

- 集中してやりましょう。
- ていねいに書きましょう。
- 終わったら、見直しを必ずしましょう。

国語は

- 内容が相手に伝わるよう工夫して音読しましょう。
- 書き順や「とめ」「はね」「はらい」に気を付けて書きましょう。
- 作文は「初め」「中」「終わり」を考えて書きましょう。

算数は

- 見やすくノートに書きましょう。
- まちがえたところは、必ずもう一度やりましょう。
- じょうぎを使うところは、必ず使いましょう。
- 式や答え、図などが正しくできたか確認しましょう。

おすすめの 学習は…

学習名人に
チャレンジ
してみよう



- ◆読書をする。「中野の100冊」の本を読む。
- ◆今まで学習した漢字や、苦手な漢字を練習する。
- ◆国語辞典を使って、言葉の意味調べをする。
- ◆ことわざの意味を調べてノートに書く。
- ◆興味があることについて、図鑑や辞典、インターネットなどで調べる。
- ◆作文や日記を書く。
- ◆プリントやテストの問題をもう一度とく。
- ◆リコーダーの練習をする。
- ◆教科書を読んで、学習の予習や復習をする。
- ◆こん虫や植物を観察する。
- ◆なわ跳びにチャレンジする。